

紀の川市立図書館資料の選定基準

1 一般図書

① 総記

ア 情報科学は、特に最新情報を必要とするので、蔵書の更新に努める。

イ 双書・全集は、評価の定まったものを選ぶ。

② 哲学・宗教

ア 哲学、心理学、倫理学は、東洋思想・西洋思想にわたり幅広くそろえる。

イ 宗教は、公平な立場で特定の宗教に偏らないように留意する。

ウ 宗教を理解するための歴史、聖典等は収集するが、伝道書・布教書は置かない。

③ 歴史・地理

ア 歴史・地理は、各時代、各地域にわたり系統だててそろえる。

イ 近畿地方、和歌山県及び紀の川市の歴史・地理は、特にきめ細かくそろえる。

ウ 旅行ガイドブックや地図等は、常に新しいものをそろえる。

④ 社会科学

ア 政治、経済、社会、法律、教育分野は、社会情勢に即応したものをそろえる。

イ 入試問題集は収集しない。

⑤ 自然科学・医学

ア 自然科学は、入門書から大学一般教養課程の内容のものまでを目安としてそろえる。

イ 医学は、健康・予防に関するものを中心にそろえる。

ウ 福祉についての入門書や、これからの医療のあり方についての入門書をそろえる。

⑥ 技術・家政学

ア 工学、工業は、入門書から大学一般教養課程の内容のものまでを目安としてそろえる。

イ 最新情報を必要とする分野では、蔵書の更新に努める。

⑦ 産業

ア 紀の川市の主要産業である農業を中心として、基本的なものから趣味的なものまで幅広くそろえる。

イ 商業、交通、通信等の産業情報をそろえる。

⑧ 芸術・スポーツ・娯楽

ア 芸術については、幅広く豊富にそろえる。

イ スポーツ・娯楽分野は、多様な要望に応えられるよう幅広くそろえる。

⑨ 言語

ア 日本語については、基本的な学問書、実用的な文例集等をそろえる。

イ 主要な外国語については、簡単な文法書、実用書等をそろえる。

⑩ 文学

ア 詩歌、小説、随筆等は、古典から現在まで魅力あるものを豊富にそろえる。

イ 文学全集は、評価の定まったものをそろえる。

2 児童図書

① 知識の本

各分野の図書を幅広く収集し、正確でわかりやすく書かれているものを選び、更新に努める。

② 童話・児童文学

ア 健全で、創造性、文学性に富んだ作品を選ぶ。

イ 古典、全集は、評価の定まったものをそろえる。

③ 絵本

ア 絵と文が調和し、相乗的な効果を出しているものを選ぶ。

イ 芸術性、創造性に富み、表現力豊かなものを選ぶ。

④ 参考書

児童、生徒の学習に必要な範囲の参考図書をそろえる。

3 参考図書

① 辞典、辞書は、各分野にわたり使いやすく、わかりやすいものを豊富にそろえる。

② 統計、年鑑、白書は、主要なものを継続的にそろえる。

4 郷土資料

① 紀の川市を中心に、関連性の深い周辺地域一帯を含めた地域の歴史、文化、風土、自然、団体、統計などについて記された資料をそろえる。

② 西行、西光万吉、華岡青洲など地域に関わる人物を取り上げている資料や地域出身者、在住者の著作に関わる資料をそろえる。

③ 地域で刊行された郷土出版物などの資料をそろえる。

5 逐次刊行物

① 新聞

主要な全国紙、地方紙、スポーツ新聞等をそろえる。

② 雑誌

国内発行の基本的な雑誌を中心に、評論、文芸、趣味、レジャー、家庭、ファッション等各分野にわたりそろえる。

6 視聴覚資料

① 文字では伝達が困難な情報を提供するとともに、活字資料の機能を補完するための資料をそろえる。

- ② 自然、健康、芸術など教養性の高い資料や、一般的な趣味、実用など各分野にわたり、豊富にそろえる。
- ③ 図書館用資料として著作権承認済のものをそろえる。
- ④ 郷土に関する資料をそろえる。

7 官公庁出版物

- ① 紀の川市が作成及び発行する資料をそろえる。
- ② 政府諸機関、地方公共団体その他公的機関が発行する資料は、必要度の高いものをそろえる。

8 障害者用資料

視聴覚障害者等の利用に供するため、点字資料、録音図書及び大活字本等をそろえる。

9 その他の資料

- ① 電話帳、CD-ROM等の電子メディア資料、マイクロフィルム等は、必要に応じてそろえる。
- ② 利用者の開拓、読書の普及をはかるために必要な資料をそろえる。